＜報道発表資料＞
（大学同時）

令和８年１１月１６日
京都市総合企画局総合政策室学藝衆構想推進担当
京都大学人文科学研究所

京都大学人文科学研究所×京都学藝衆構想連携事業

京都学藝衆構想講座　「京都（まち）は偶然でできている」

～偶然性から京都のまちと人とのつながりを考える～

京都市では、多様な世代が京都の多彩な魅力に触れ、学び、楽しみ、交流する「夢中になれる学び合い」の機会を創出する取組として、「京都学藝衆構想」を推進しています。

また、京都大学人文科学研究所では長年にわたり「人文研アカデミー」の活動を通して、広く一般市民に開かれた公開講座やシンポジウム等を開催してきました。

この度、京都市と京都大学人文科学研究所はこうした活動の連携企画として、「偶然性」をテーマとした京都学藝衆構想講座「京都（まち）は偶然でできている」を開催します。

京都では、「まちを歩けば知り合いに出会う」、「ふと足を踏み入れた路地や店で新たな魅力を発見する」、「何気ない会話や縁から新たな学びを得る」というように人、物、知との出会いが日常的に生まれています。こうした偶然の重なりが、人とまちを結び、京都の文化や暮らしを豊かに育んできました。一方、私たちの人生や社会には、喜ばしい出会いだけでなく、予期しない変化や困難も訪れます。

本講座では、「偶然とは何か」という根源的な問いを手掛かりに、哲学、文学、歴史学など多様な人文知の視点から、人と人とのつながりや都市のあり方について考えます。参加者も対話に加わり、共に問いを深める機会とすることで、京都のまちが持つ学び合いの文化や、人と人とのゆるやかなつながりの価値を改めて見つめ直します。

１　開催概要

(1)　日　時　令和８年１２月１５日（火）　午後６時３０分～午後８時３０分

(2)　会　場　murmur coffee kyoto
〒600-8139 京都市下京区正面通高瀬角
京阪電車 七条駅 徒歩約 10 分　市バス 河原町正面 徒歩約 3 分

(3)　定　員　１０名程度　※応募多数の場合は抽選

(4)　参加費　無料　※各自でワンドリンクオーダーをお願いします。

(5)　対　象　哲学の知識・経験の有無は問わず、どなたでも御参加いただけます。

2　内容

(1)　第１部（話題提供・鼎談）

「偶然性」をテーマに、人文科学の第一線で活躍する研究者が、それぞれの専門分野から話題提供を行います。その後の鼎談では、「偶然と出会い」「偶然と都市の創造性」「予期せぬ出来事を引き受けること」などを切り口に、多角的な議論を展開します。

(2)　第２部（哲学対話）

参加者も加わり語り合う哲学対話を実施します。登壇者の話を手掛かりに、それぞれが抱いた問いを持ち寄りながら、「偶然とは何か」「私たちは偶然とどのように関わりながら生きているのか」などについて考えます。

3　登壇者（五十音順）

【第１部・第２部】

○　藤田（ふじた） 尚志（ひさし） 氏（京都工芸繊維大学 基盤科学系教授）

専門はフランス近現代哲学・思想。著書に『ベルクソン 反時代的哲学』(勁草書房)。九鬼周造の哲学、近代日本の精神史を研究テーマとしていた故宮野真生子氏の思想を社会に開き続ける「PROJECT マキコミヤ」巻き込まれ人。宮野氏との共編著に『シリーズ　愛・性・家族の哲学』(ナカニシヤ出版)。

○　藤原（ふじはら） 辰史（たつし） 氏（京都大学人文科学研究所 教授）

歴史学者・農業史研究者。専門は農業史、食と農の思想、ドイツ現代史。『ナチスのキッチン: 「食べること」の環境史』(水声社/河合隼雄学芸賞）や『分解の哲学 腐敗と発酵をめぐる思考』(青土社/サントリー学芸賞)、(『生類の思想: 体液をめぐって』(かたばみ書房/小林秀雄賞）など著書多数。

○　森本（もりもと） 淳生（あつお） 氏（京都大学人文科学研究所 所長・教授）

専門はフランス文学・思想。フランス象徴主義、とくにマラルメやヴァレリーの詩学を研究。著書に『小林秀雄の論理』(人文書院)、編著に『愛のディスクール――ヴァレリーの「恋愛書簡」を読む』、『落語を学問する』(水声社）等。

【第２部ファシリテーター】

○　安本（やすもと） 志帆（しほ） 氏（こどもの哲学（Philosophy for Children）実践者）

平安女学院高等学校非常勤講師、純真高等学校高校（福岡市）コーディネーターとして哲学プラクティスをおこなう。こどもの権利を起点に、不可視化されてきた存在や声に着目し、こどもたちが平和な世界で生きるための教育のあり方を研究。広島市立大学大学院平和学研究科博士前期課程在籍。「PROJECT マキコミヤ」巻き込まれ人。

4　本講座の特色

京都は、長い歴史の中で、人と人とのゆるやかなつながりを基盤に、多様な文化や知恵を育んできました。その背景には、制度や組織によって計画されたものだけではなく、日常の中で生まれる偶然の出会い、思いがけない対話、予期しない出来事が存在しています。

本講座では、人文学の研究者と参加者が同じ場に集い、「偶然性」を切り口に京都という都市を見つめ直します。また、参加者自身が対話に加わることで、一人一人の経験や視点を共有しながら、新たな気付きや関係性を生み出すことを目指します。

京都学藝衆構想が掲げる「夢中になれる学び合い」の実践を通じて、京都に息づく文化や知恵、人と人とのつながりの価値を再発見する機会とします。

5　申込方法

○　申込フォーム URL　https://forms.gle/86yyZCJJbD1iFRXx5

○　申込期間　令和８年１１月１９日（木）～１２月２日（水）

6　主催

京都市、京都大学人文科学研究所

7　京都学藝衆構想について

京都学藝衆構想は、多様な世代が文化芸術、伝統芸能、伝統工芸、建築、庭園、自然、スポーツなど京都の多彩な魅力に触れ、学び、楽しみ、交流する「夢中になれる学び合い」の機会を創出する取組です。こうした学び合いを通じて、京都への愛着の醸成や魅力の継承・発信につなげることを目指しています。

https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000356935.html

8　人文研アカデミーについて（参考）

人文科学研究所では長年にわたり「人文研アカデミー」として公開講座・講演会・研究セミナー・シンポジウムなど、さまざまなイベントを開催し、最新の研究成果をひろく一般の方々に公開しています。2026 年度は 15 件のイベントを実施します。

https://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/symposium/zinbun-academy-program-2026.html

9　問い合わせ先

（京都学藝衆構想・本講座について）

京都市総合企画局総合政策室学藝衆構想推進担当

TEL：075-222-3061

（京都大学人文学研究所・人文研アカデミーについて）

京都大学人文科学研究所 総務掛

TEL：075-753-6902